

平成28年度 学力向上グランドデザイン

相馬市立向陽中学校

PLAN

〈教育目標〉

「知性」「品格」「至誠」「体力」
を身につけた活力ある生徒

指導要領
教育課程審議会答申
福島県長期総合教育計画

相馬市教育委員会学校教育課
基本方針

- I 「グランドデザイン」の構築と実践
- II 「確かな学力」を向上させる授業づくり
- III 「確かな学力」向上をささえる基盤づくり

重点目標

自己の目標達成のため、最後までやりとおすことができる

生徒の実態

- ① 授業や課題、自主学習に対する意欲の差が大きい。学力差が大きく広がっており、一斉指導では学習内容を理解できない生徒の割合が増えている。
- ② 生徒は与えられた学習課題に真剣に取り組む表現力も向上しているが、主体性や積極性に乏しい。
- ③ 基礎的・基本的な学力を十分に身に付けていない生徒が多く、発展内容の学習や課題解決型学習に支障が生じたり、グループ学習で意見が偏ったりすることがある。

社会的理由

- ① 社会的・職業的自立に向けて基礎となる「基礎的・基本的能力」を育成することが求められている。
- ② 本校は全国標準に近い学力であるが、学力差が大きい。個に応じた「確かな学力」の向上が重点課題である。
- ③ 教員の授業力の向上が求められている。

相馬市内小・中
学力向上推進会議

- ① 生徒主体のわかる授業づくりの実践
- ② 個に応じたきめ細かな指導の充実と指導法の工夫・改善
- ③ 学びの習慣化の指導の充実
*学年領域別数値目標(全国正答率を上回る)

中高交流授業
高校:相馬東(数学・英語)

DO

【教師】:教科による指導の重点

- ① 学力テスト等の結果から、強化すべき基礎的・基本的事項を明らかにして重点的な指導をする。
- ② 「わかる・できる授業」を展開し、「確かな学力」の向上に努める。
- ③ 言語活動の充実を図る。
- ④ 学びの意味づけ、内発的な学習意欲を喚起する。
- ⑤ 校内研修、目標管理制度で授業力を向上させる。
- ⑥ 各教科における「基礎的・基本的能力」の育成をめざす。

【生徒】

- ① 朝の読書活動に取り組む。
- ② 自主学習ノートを各自工夫しながら作成する。
- ③ 宿題、週末課題に取り組む。
- ④ 定着確認シートで各自の学習を振り返る。
- ④ 各種検定やコンクールに参加する。

【研究内容】

- ① 授業での取り組み ～授業づくり共通実践事項～
 - ・教材の工夫 ・指導方法や指導形態の工夫 ・ねらいの提示 ・生徒主体の課題設定のための指導の工夫
 - ・課題解決の方法や学習時間、場の設定の工夫 ・振り返りの時間の確保 ・数学、英語等でIT指導の実施
 - ・まとめの時間の確保と効果的なまとめ方の工夫 ・コース別学習や繰り返し学習の工夫
 - ・学力向上対策による補充、発展学習の実施
- ② 望ましい学習習慣の確立 ～家庭学習の習慣化を図る工夫～
 - ・個に応じた自主学習ノートづくり ・学級担任による点検とアドバイス ・学習の手引きの活用 ・各教科担任との連携
- ③ 小中高連携による授業内容の一貫指導のあり方～学習内容・指導方法の理解～
 - ・生徒指導面での情報交換 ・授業方法(板書配置・授業方法)の共通化 ・苦手分野、陥没点の確認(特に小中)
- ④ 学力調査結果の分析と活用 ・NRTによる学力実態把握、問題点とつまずきの把握

CHECK

校長・教頭

協議会や交流授業の打ち合わせの時間が確保され、効果的な話し合いになっているか。

教科担任・学級担任

小・単元テスト・定期テストの通過率が70%以上になっているか。自主学習を提出しているか。

教務・研修主任

指導体制が構築され、それを活用した年間指導計画になっているか。

ACTION

○小・中の教頭、本校および相馬東高校の各教科主任(特に数学・英語)を中心に連絡調整を行い、時間を確保する。

○繰り返し指導や習熟の程度に応じた指導をする。
○まとめの時間を十分に確保する。
○生徒個人の自主学習へのアドバイス。

○中学1, 2, 3年の各学年における心身の発達段階を考慮した指導体系の見直しをする。
○学習調査等を実施し、実態を把握し指導に生かす。